

例会報告

第2401回例会報告議事録

日時 27年9月29日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「手に手をつないで」

ビジター:根本孝英様(柏RC)

S.A.A.:高島会員

会長挨拶

瀧日会長



歩いていると女子大生の姿が見えて、いい雰囲気です。

沖縄で風速80メートルの記録が出て被害を受けています。先週、初めて沖縄に行きまして。今まで、沖縄には観光ではなかなか気が重くて行けません。なぜなら、沖縄は日本で唯一凄惨な陸上戦が行なわれた所だからです。今回は公認会計士協会の研究大会が行なわれたので、戦後70年の節目でもありますし行ってもいいかなという気持ちになり行って参りました。

首里城は沖縄守備軍の総司令部があったので、完璧に破壊されました。今あるのは戦後に復旧したもので、かなり新しい感じがしました。

ひめゆりの塔にも行って献花をして参りました。ひめゆり部隊が入っていた洞窟が残っていました。中には入れませんでしたが、外から見ただけでも大変な洞窟だなと思いました。沖縄は珊瑚礁の島ですから岩はゴツゴツです。ひめゆりの塔で亡くなったのは看護師として動員された15歳から19歳の女子学生と先生方、約140人でした。看護すると言っても薬も何もなく、運び込まれた負傷兵の麻酔なしで切断された足や腕、どんどん亡くなる人を埋める、そういう仕事をさせられていたようです。衛生状態の悪い凄惨な状況だったと思います。最後はアメリカ軍が投降を呼びかけたらしいのですが、最終的には洞窟にガス弾を投げ込められてほとんどの人が亡くなりました。

つくづく思ったのは、なぜ日本はこんな無謀な戦争に突入したんだろうか、ということです。「流れ」だと言っている人がかなりいます。山本五十六という海軍の司令長官がいましたが、この人は戦争に反対していました。天皇陛下がご下問になった時に、半年は勝てるけれども、その先はわかりませんと答えたそうです。とても戦力、物力でかなわない戦争になぜ突入したのか、それは誰も反対できないような流れができていたからだ、と。マスコミなんかも、当時の新聞を見ると戦争をあおっています。一つの流れができてしまうと、こういうとんでもないことが起きてしまう、そんなことをつくづく痛感して帰ってきました。



本日のビジター:根本孝英様(柏RC) 松本会員

親睦委員会報告

木村委員長



来月14日の親睦ゴルフには12名、3組確保できており、夜間例会には19名参加予定です。

夜間例会の会費はお1人4,000円です。

出席報告

渡邊委員長

19名出席(全員で24名) 出席率79.2%

上村晃一会員について

小池会員



先々週の9月18日に米田会員と東京の信濃町にある慶応病院まで上村晃一会員のお見舞いに行ってきました。非常にお元気でした。

2ヶ月くらい前から検査を始めて、心臓の弁が悪いということで交換されて、現在、ペースメーカーを入れていらっしゃるそうです。若い頃から不整脈があったそうで、いずれ手術をしないといけないということで、今のタイミングで手術をされたとのことです。

6時45分頃にお邪魔して、面会時間が19時までだったのですが、気がついたら8時半をまわっていました。お仕事や病気の話をしました。休み明けの24日に退院されるとのことでした。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
服部会員	卓話をお聞きいただきありがとうございました。	1,000円
村越会員	前回欠席しました。	1,000円
当日計		2,000円
今期累計		61,000円

卓話「ロータリーソングについて」

服部会員



瀧日年度になり、「奉仕の理想」だけでなく、歌のレパートリーが増えました。「我等の生業」はまだ大きな声で歌っていただけていないので、お配りした歌詞をご覧になって練習していただきたいと思います。

8年くらい前に鈴木会員に連れられて例会の見学に来たのですが、例会で歌っているのを見て驚きました。私は山の会にも入っているのですが、例会では歌いません。歌を歌うことによって気持ちを一つにする、連帯意識や絆を深めるということが目的だと思います。

他のクラブではどんな歌を歌っているのかと思い、今朝、インターネットで検索してみたのですが、「それでこそロータリー」「我等の生業」「手に手つないで」が歌われていました。

昭和10年と昭和26年に日本でロータリーソングを募集して、入選した曲が今、広く歌われているようです。

日本最初のロータリークラブは大正9年に創立された東京ロータリークラブで、当初はロータリーソングを英語のまま歌っていたそうです。やがて日本語によるロータリーソングを求める声が高まって、昭和10年に京都の地区大会において日本語ロータリーソング入選作として「奉仕の理想」や「我等の生業」が発表されたそうです。

戦時中はロータリークラブは本部が敵国アメリカにあるということで解散させられたそうなのですが、日本のクラブだということを証すために、君が代の斉唱が始まったそうです。

昭和26年にロータリーソングが募集されて、「手に手つないで」が作られたそうです。27年に日本のロータリークラブが2つの地区に分かれたそうなのですが、分かれても一つだよという意味合いで「手に手つないで」が生まれたそうです。

昭和28年に「それでこそロータリー」が作られました。

日本やアメリカ、オーストラリア、ナイジェリア、ニュージーランド、カナダ等の国では例会で歌うことが習慣になっていますが、ヨーロッパやアジアの方では例会で歌う習慣はあまりないようです。

「奉仕の理想」がポピュラーで、例会で一番歌われていると思います。大正9年に初めてロータリークラブが創立されて、続いて大阪、神戸、名古屋、京都、横浜、ソウル、広島、大連、奉天、ハルピン、台北で生まれ、昭和5年には11クラブあったそうです。植民地時代だったので、大陸の方にもありました。

昭和5年に神戸の地区大会で日本語によるロータリーソングを作りましょうと奉天クラブから提案があり採択され、昭和10年に京都の地区大会で日本語によるロータリーソングが発表されました。

この時、4つの歌が選ばれており、第1位は「旅は道づれ」、第2位は「奉仕の理想」、第3位は「平和を人の世に」、第4位は「我等の生業」でしたが、「旅は道づれ」は作曲に盗作の部分があったということで失格になり、「奉仕の理想」が繰り上げ当選になりました。「旅は道づれ」の作詞者は当時、東京ロータリークラブの会員であった杉村楚人冠でした。

(次ページへ続く)

「奉仕の理想」の作詞者、前田和一郎という方は明治28年生まれで、神戸一中、三高を経て京大を卒業後ドイツに2年間留学し、父が営む前田化学工業薬品に入社し、昭和16年に社長に就任されています。経歴からいくと作詞家ではない方です。

「奉仕の理想」の中で「御国に捧げん」と歌っている部分がありますが、元々は「世界に捧げん」だったそうです。当時の村田ガバナーという方が国粋主義者で愛国心が特に強く、新しいソングの選考にあたり、「御国に捧げん」と歌詞を変更しなければ当選は無効であると通達を出されたのだそうです。作詞をされた前田和一郎さんは涙をのんで変更を承認されたそうなのですが、逝去される際、親しい友人を呼んで、もしできることなら何時の日にか「世界に捧げん」に戻してもらえればありがたいとおっしゃったそうです。

「我等の生業」は作詞が高野辰之さん、作曲は岡野貞一さんで、お二人は日本の童謡唱歌の作詞作曲の名コンビで「春が来た」「もみじ」「春の小川」「おぼろ月夜」「故郷」を作られています。ロータリアンではなかったようで、ロータリーから依頼を受けて作られたのではないかと思います。

「手に手つないで」は昭和26年に東京ロータリークラブの矢野一郎さんという方が作詞作曲されました。この方も音楽を専攻されたわけではなく、第一生命の社長になられた方です。

「手に手つないで」が大変好評だったので、もっと軽妙で快活な曲を作ろうということで「それこそロータリー」が昭和28年に作られたそうです。

そういうことで、ロータリーソングにはこういった歴史や経緯がありますので、歌詞をかみしめて大きな声で歌っていただきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました。

幹事報告

丸田幹事



- ・10月は経済と地域社会の発展月間です。ロータリージャパンの方から出版物の案内が来ております。ご興味のある方は事務局にありますのでご覧になってください。
- ・来週月曜に地区大会の記念ゴルフ大会があります。車の段取りの方は荒井会員から連絡していただくようにしたいと思います。
- ・協賛しているジャパン バード フェスティバルのちらしとポスターが来ています。ポスターは会員の方の会社の方に貼っていただければと思います。

閉会の挨拶

瀧日会長

服部会員、興味ある話をありがとうございました。

「奉仕の理想」の「御国に捧げん」という言葉が非常に嫌で歌う気がしなかったのですが、作詞家は「世界に捧げん」と言っていたんですね。

「平和親睦」を「やわらぎむつみ」なんて読める人は今はまずいません。相当古い歌という感じがします。新しい歌がそろそろできてもいいんじゃないかなという感じがします。

今週の表紙「東葛テクノプラザ」 柏市柏の葉5丁目4番6号

県立の企業支援施設です。新産業の創出やベンチャー企業の育成、企業の経営・技術支援など、産（産業界）・学（教育・研究機関）・官（官公庁）が連携して幅広い支援事業を行っています。ガラス張りの近代的な外観と、光の差し込む開放的で明るい内装が印象的です。2002年度の日本建築家協会の一般建築部門 最優秀賞を受賞しています。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。